

教職員のみなさまのご意見をお聞かせください

小田原市立小・中学校の教育環境に関するアンケート調査 質問紙

小田原市教育委員会では、少子化の進行や新型コロナウイルス感染症のリスクに備えた新しい生活様式、さらにはICTを活用した学習環境の整備など、子供たちや学校を取り巻く状況が大きく変化していく中、子供たちにとって望ましい教育環境について検討する「新しい学校づくり検討委員会（以下『委員会』）」を設置し、子供たちの教育環境を充実させるために必要となる適正な学級数・学校配置のあり方や、新しい学校に必要な機能などについて検討することを予定しています。

※児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化の状況については、2～3ページをご覧ください。

委員会では、PTA、自治会、小・中学校の校長会の代表者、公募市民と学識経験者で検討を進めていきますが、教職員のみなさまの考え方や意識を把握し、委員会での議論を充実させることを目的として、本アンケート調査を実施することにいたしました。

調査は無記名であり、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしませんので、お考えのままをご記入ください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の主旨をご理解いただき、ぜひ調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

2022 年●月
小田原市教育委員会

■回答いただくうえでの注意点

- ① 本調査は、Web フォームから（Google フォーム）から回答いただく調査になります。Web フォームへアクセスする方法は別紙「●●」をご確認ください。
- ② 回答は、本調査票を持ち帰った教職員の方がお答えください。
- ③ 回答は、各設問の枠の中からあてはまる選択肢について、該当する選択肢を選択して下さい。また、設問によっては文章をご入力ください。
- ④ 回答に迷う場合には、回答者の方の考えにできるだけ近いものをお選びください。
- ⑤ Web フォームへの回答は●月●日（●）までに回答をお願いします。
- ⑥ アンケートに関するお問い合わせは、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

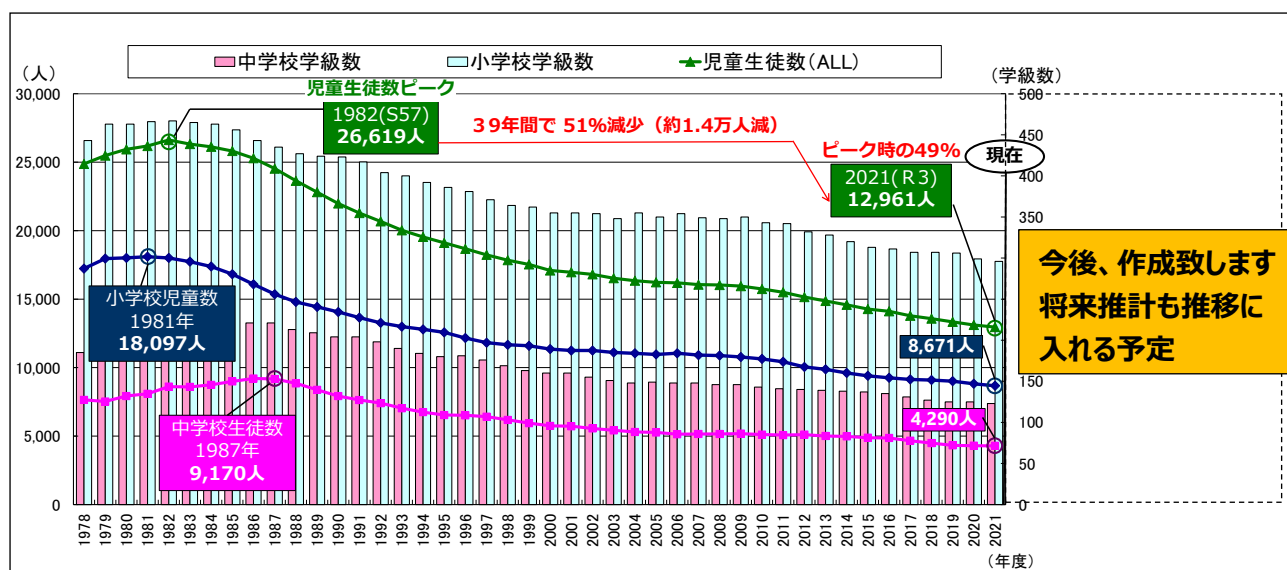
【問い合わせ先】
小田原市教育委員会教育総務課総務係
電話：0465-33-1671

（参考１）小田原市立小・中学校の児童・生徒数の推移と将来推計について

小田原市は、市全体の児童・生徒数の推移は、下図のとおりで、昭和 57 年度の 26,619 人をピークに減少傾向が続いており、令和 3 年度では、12,961 人とピーク時の約 5 割まで減少しています。また、令和 3 年度時点の各学校の学級数は、普通学級数が 12 学級未満の学校が小学校 11 校（小規模特認校である片浦小含む。）、中学校 5 校の計 16 校となっています。

国立社会保障・人口問題研究所の予測に基づいた今後の児童・生徒数の長期推計は、令和 22 年（2040 年）にはピークから約 65% 減少（9,119 人）することが見込まれています。

＜小田原市 児童生徒数・学級数の推移＞

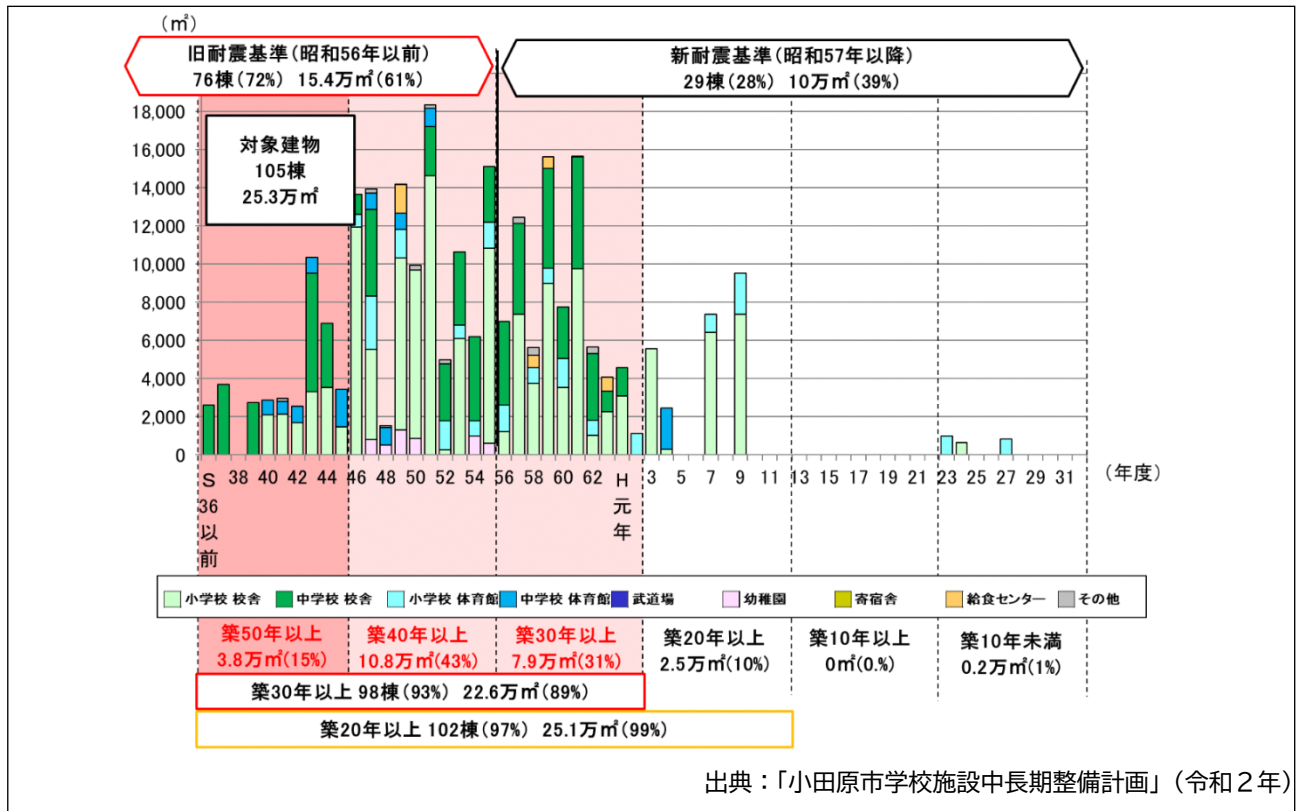


(参考2) 小田原市立小・中学校施設の老朽化について

下のグラフは、棟単位での築年別整備状況です。整備のピークは児童・生徒数が増加していた昭和43年から昭和62年の20年間で、この間に78棟、約19.1㎡を整備しています。一方で、平成10年以降はほとんど新規整備を行っていません。

下の表は、校舎のうち最も古い建築年度を基準とし、築年数別（10年単位）にグルーピングした際の施設数の一覧です。これによると、小学校5校は築40年未満ですが、残りの31校は既に築40年を経過し、老朽化が進行していることが分かります。

< 築年別整備状況 >



< 学校施設の築年別一覧表 >

築40年未満	【小学校】三の丸 大窪 下曾我 前羽 富士見
築40～49年	【小学校】久野 下府中 片浦 曾我 下中 報徳 豊川 【中学校】千代 国府津 酒匂※ 城北
築50～59年	【小学校】新玉 足柄 芦子 早川※ 山王※ 富水 町田 桜井 千代 国府津 酒匂 東富水 矢作 【中学校】城山 城南 泉 橘
築60年超	【中学校】白鷗※ 白山 鴨宮

※1 校舎のうち最も古い建築年度を基準

※2 ※を付した学校施設は、洪水浸水想定区域（河岸浸食）（早川小）、津波災害区域（山王小、白鷗中、酒匂中）となっている

★4 ページからアンケート調査の設問になります。

※設問を読みながら Web フォームで回答をお願いします。

本調査は、Web フォーム（Google フォーム）から回答いただく調査になります。
Web フォームへアクセスする方法はこの調査票に添付している●●をご確認ください。

あなた（回答者）について

問1：あなたが勤務している学校の校種を選択してください。

問2：あなたが勤務している学校名を選択してください。※小学校・中学校ごとに選択区分があります。勤務している学校の校種ではない選択欄では、「該当なし」を選択してください。

問3：あなたの役職等を選択してください。

問4：これまで法令で定める標準を下回る学級数（1校あたり11学級以下）の学校で勤務した経験の有無を選択してください。

小・中学校の学級数について

1学年あたりの学級数が少ない小規模な学校の教育活動におけるメリット・デメリットについて、あなたの考えにあてはまるもの1つをWebフォームで選択してください。

問5-1：【小規模な学校のメリット】

調査項目		そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
(1)	子どもたちの人間関係が深まりやすい					
(2)	学校行事や部活動等で子どもたちに個別の活動機会を設けやすい					
(3)	異学年間の教育・交流活動を設けやすい					
(4)	教職員の目が届きやすく、きめ細かな指導をしやすい					
(5)	I C T機器などの授業で使用する教具を一人一人に行き渡らせやすい					
(6)	学校と保護者・地域社会が連携した教育活動を展開しやすい					

※上記以外に小規模な学校のメリットがあると思う方はその内容をご入力ください。

問5-2：【小規模な学校のデメリット】

調査項目		そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
(1)	子どもたちの人間関係や相互の評価などが固定化しやすい					
(2)	多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい					
(3)	集団活動や学校行事に制約が生じやすい					
(4)	習熟度別学習やグループ学習など多様な学習形態がとりにくい					
(5)	部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい					
(6)	P T A活動等における保護者 1 人あたりの負担が大きくなりやすい					

※上記以外に小規模な学校のデメリットがあると思う方はその内容をご入力ください。

問6：小規模な学校において教職員が少なくなることによる学校運営上の課題について、あなたの考えにあてはまるもの1つを Web フォームで選択してください。

調査項目		そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
(1)	子どもたちの良さが複数の教職員から多面的に評価されにくい					
(2)	教職員同士が切磋琢磨する環境を作りにくく、指導技術の相互伝達（人材育成）がなされにくい（学年会や教科会等が成立しない）					
(3)	教職員一人あたりの校務負担や学校行事に関する負担が重く、課題が生じやすい					

※（4）と（5）は中学校の教職員のみ回答をお願いします。

(4)	中学校の部活動の指導者確保が困難となりやすい					
(5)	中学校の教職員定数上、教職員ごとに受け持つ授業時間数に不均衡が生じやすい					

※上記以外に小規模な学校の学校運営上の課題があると思う方はその内容をご入力ください。

問1で「小学校」を選んだ教職員の方にお聞きます。※「中学校」を選んだ方は該当なしを選択
 問7-1：今後、少子化の進行により小規模な小学校が増えることが予測されますが、1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。あてはまるもの1つをWebフォームで選択してください。

※小田原市立小学校の1学年あたり学級数の状況は資料1-1をご確認ください。

- | | | | |
|-------------------|-----------|---------|---------|
| (1) 中学校教職員のため該当なし | (2) 1学級 | (3) 2学級 | (4) 3学級 |
| (5) 4学級 | (6) 5学級以上 | | |

※差し支えなければ、その学級数を選択した理由をご入力ください。

問1で「中学校」を選んだ教職員の方にお聞きます。※「小学校」を選んだ方は該当なしを選択
 問7-2：今後、少子化の進行により小規模な中学校が増えることが予測されますが、1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。あてはまるもの1つをWebフォームで選択してください。

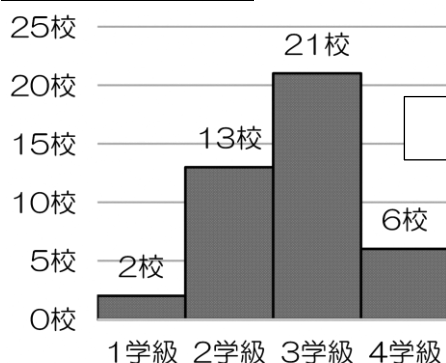
※小田原市立中学校の1学年あたり学級数の状況は資料1-2をご確認ください。

- | | | | |
|-------------------|------------|---------|---------|
| (1) 小学校教職員のため該当なし | (2) 1学級 | (3) 2学級 | (4) 3学級 |
| (5) 4学級 | (6) 5学級 | (7) 6学級 | (8) 7学級 |
| (9) 8学級 | (10) 9学級以上 | | |

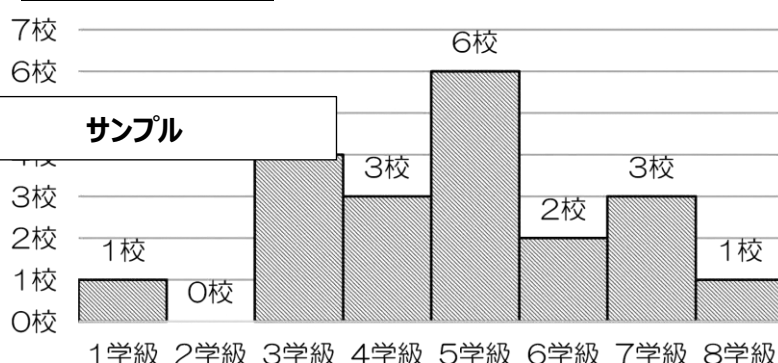
※差し支えなければ、その学級数を選択した理由をご入力ください。

【資料1】小田原市立小・中学校の1学年あたり平均学級数の分布（2019年度）

資料1-1 小学校



資料1-2 中学校



子どもの通学時間や通学方法について

問1で「小学校」を選んだ教職員の方にお聞きます。※「中学校」を選んだ方は該当なしを選択

問8-1：小学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。

あてはまるもの1つを Web フォームで選択してください。

※小田原市立小学校における最長通学時間の児童の状況は資料2-1をご確認ください。

- | | | |
|-------------------|-----------|-----------|
| (1) 中学校教職員のため該当なし | (2) 15分程度 | (3) 30分程度 |
| (4) 45分程度 | (5) 45分以上 | |

※差し支えなければ、その通学時間を選択した理由をご入力ください。

問1で「中学校」を選んだ教職員の方にお聞きます。※「小学校」を選んだ方は該当なしを選択

問8-2：中学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。

あてはまるもの1つを Web フォームで選択してください。

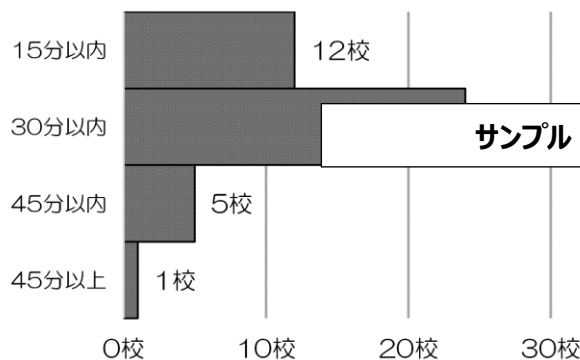
※小田原市立中学校における最長通学時間の生徒の状況は資料2-2をご確認ください。

- | | | |
|-------------------|-----------|-----------|
| (1) 小学校教職員のため該当なし | (2) 15分程度 | (3) 30分程度 |
| (4) 45分程度 | (5) 45分以上 | |

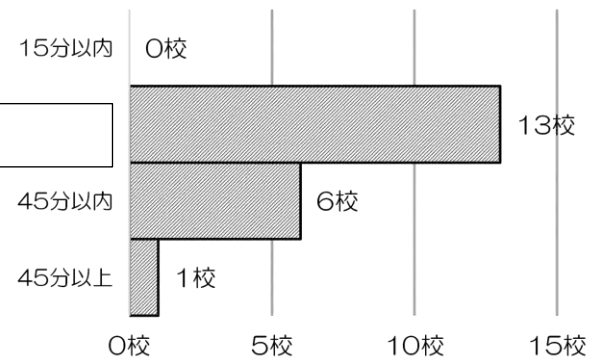
※差し支えなければ、その通学時間を選択した理由をご入力ください。

【資料2】小田原市立小・中学校における徒歩の場合の最長通学時間の分布（2018年度）

資料2-1 小学校



資料2-2 中学校



問9：問8でお答えいただいた通学時間の範囲で子どもたちが通学をするために、どのような配慮が必要だと思いますか。あてはまるもの全てを Web フォームで選択してください。

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| (1) 住所から近い場所にある学校への通学を認める | (3) スクールバスを運行する |
| (2) 公共交通機関（バスなど）の利用を認める | (5) 徒歩で構わない |
| (4) 自転車の利用を認める | (6) その他（ ） |

学校施設の老朽化について

問 10：以下は、本市の学校施設整備の基本方針のうち、「教育環境の充実に向けた基本方針」です。
5つの基本方針（カッコ内は例示）のうち、あなたが「新しい学校」に最も望むことは何ですか。あてはまるもの1つを Web フォームで選択してください。

- (1) 安心・安全な学校づくり
(防犯対策、安全性の高い学習・生活空間)
- (2) 多様な学習形態に対応する学習空間づくり
(教室と多目的スペースの組み合わせ等による柔軟な空間利用、ICT の活用と連動した図書館機能の強化、STEAM 教育（※ 1）に対応した特別教室)
- (3) バリアフリー・ユニバーサルデザイン (UD) の推進
(エレベーター・スロープ・みんなのトイレの設置、UD に配慮したサイン表示)
- (4) 環境への配慮 (省エネ、再エネ、木質化、芝生化)
- (5) 地域とのつながりを育てる施設づくり
(避難所機能の強化、地域の方が使えるスペースの整備)

出典：「小田原市学校施設中長期整備計画」（令和 2 年）

※ 1 科学、技術、工学、芸術、数学の 5 つの英単語の頭文字を組み合わせた造語。教科横断的な学習として国が推進している。

問 11：現在の学校施設についてどのように思いますか。（調査項目ごとに、あてはまるもの1つを Web フォームで選択してください。）

区分	項目	満足度				具体的な内容 改善策など
		満足	やや満足	やや不満	不満	
(例) ○○の広さ		満足	やや満足	やや不満	不満	
教室	広さ	満足	やや満足	やや不満	不満	
	安全性	満足	やや満足	やや不満	不満	
	快適さ（暑さ・寒さ）	満足	やや満足	やや不満	不満	
	使いやすさ	満足	やや満足	やや不満	不満	
トイレ	広さ	満足	やや満足	やや不満	不満	
	安全性	満足	やや満足	やや不満	不満	
	快適さ（暑さ・寒さ）	満足	やや満足	やや不満	不満	
	衛生面	満足	やや満足	やや不満	不満	
体育館	広さ	満足	やや満足	やや不満	不満	
	安全性	満足	やや満足	やや不満	不満	
	快適さ（暑さ・寒さ）	満足	やや満足	やや不満	不満	
	使いやすさ	満足	やや満足	やや不満	不満	
校庭	広さ	満足	やや満足	やや不満	不満	
	安全性	満足	やや満足	やや不満	不満	
	使いやすさ	満足	やや満足	やや不満	不満	
プール	広さ	満足	やや満足	やや不満	不満	
	安全性	満足	やや満足	やや不満	不満	
	使いやすさ	満足	やや満足	やや不満	不満	

問 12：学校施設で地域の方や一般の方が利用できるよう開放してほしいと思うのはどの施設ですか。（体育館・校庭は既に開放しています）（調査項目ごとに、あてはまるものを3つまで Web フォームで選択してください。）

- | | | | |
|------------|---------------|----------|-------------|
| (1) 図書室 | (2) 音楽室 | (3) 理科室 | (4) 図工室・美術室 |
| (5) 家庭科室 | (6) 木工・金工室 | (7) 被服室 | (8) 視聴覚室 |
| (9) ランチルーム | (10) 現状のままでよい | (11) その他 | |

※ (11) その他に回答した方は内容を入力してください。

問 13：学校敷地に併設・隣接しているといいと思うのはどのような施設ですか。（あてあまるものを3つまで Web フォームで選択してください。）

- （1）保育所、幼稚園、認定こども園などの子育て支援施設
- （2）老人ホーム、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設
- （3）グループホームや作業所などの障がい者支援施設
- （4）災害時に利用できる施設 （5）商業施設 （6）公園
- （7）現状のままでよい （8）その他

※（8）その他に回答した方は内容を入力してください。

問 14：学校施設に前の設問で挙げた施設等が併設・隣接された場合、どのような配慮が必要になると思いますか。あてはまるもの1つを Web フォームで選択してください。

- （1）学習活動に集中できるようにする
- （2）事故防止の対策
- （3）事故が起きた時に責任の所在を明確にするルール
- （4）光熱水費などの費用負担のルール

問 15：「新しい学校づくり」に対するご意見やご要望などがありましたら、自由に入力してください。

【自由記述で回答】

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。